

ご意見ありがとうございました

まちづくり座談会

6月30日から7月11日にかけてまちづくり座談会が各地区公民館で開催されました。
座談会でいただいたご意見の主なものをお知らせします。



庁舎等の整備について

Q. 役場庁舎の建設に30億という経費がかかるようだが、西中の校舎を耐震化して利用すれば、新たな用地買収などする必要もないのではないか。

A. 役場庁舎は建築からすでに50年が経過しており、耐用年数があると数年のところには耐震化で何億も投資するよりは、防災センター機能を持たせて、消防分署、中央公民館、図書館とリンクし行政の中枢機能として利用できる庁舎を整備したい。

Q. 中央公民館大ホールに代わる住民活動の場はどの部分になるのか。中央公民館という個別な建物ではなく庁舎棟の中に位置づけるといふことが。

A. 大きくは分署棟（消防分署）と庁舎棟に分ける。庁舎棟については、行政・議会と防災センター・図書館として機能を持たせる。非常時に機能する防災センターに、ある程度の広さのホールのなスペースを整備し、通常時には町

民の皆さんのいろいろな活動の場として利用していただく。

Q. 庁舎等の整備については、町内の木材を使う、町内の業者を使うなど、町の活性化につながり、整備してよかったですみんなが言えるように検討していただきたい。

A. 町内で製材できる業者は1社しかない。今年度立ち上げた森林・林業再生協議会の中で、町内で生産された木材を公共施設の建築に積極的に利用する方法や副産物は燃料等として活用できないかと検討している。

コミュニティセンターについて

Q. コミュニティセンター化について、地区でつくる計画は、ソフト面だけの計画ではないのか、ハード面も出てくるのではないかと、

A. 生涯学習、地域づくりについて継続していただくことを前提に、さらには地域の課題に対応する事業展開を期待している。第一義的にはソフト

面を中心に計画していただきたい。分館整備等についての補助制度は継続する方向で調整し、施設の改修等のハード面の助成についても継続して対応していきたいと考えている。

Q. コミュニティセンターの必要性について、第5次総合計画との関連をもっと強調していけば町民の皆さんもより理解しやすいのではないかと。

A. 5年間の後期計画の中でコミュニティセンターの位置づけは大きい。町の拠点となる新たな庁舎と各地区の拠点となるコミュニティセンターをどのように関連づけていくか、これからの地域づくりの大切な視点であり、総合計画策定の中で町民の皆さんからご意見をいただきたい。

Q. 6地区同時にスタートの方向で考えていると思うが、もし、一斉スタートできない場合はどのようなことが想定されるか。

A. 来年4月からのスタートを目指しているが、各地区の